

# 熊野筆用の原毛加工で 培った技術を活かして

## 株式会社ウエダ美粧堂

### 日本で唯一の原毛輸入加工会社

日本で唯一、筆用の原毛を輸入し、加工を行うウエダ美粧堂。長年にわたる広島県熊野町の化粧筆会社へ化粧筆の原毛を卸した実績を持つ。日本の伝統技術に加え、西欧の画筆として培われた精毛技術を結集させた高い技術と品質が特徴である。

最近では、幅広い層に気軽に使ってもらえる商品の開発にも取り組んでおり、真っ白な毛材を使用した商品や人工毛を使った商品を展開している。人工毛を使用している「リキッドファンデーションブラシ」は、2018年グッドデザイン賞を受賞した。



(左) パリへ出展している人工毛を使用した「リキッドファンデーションブラシ」。リキッドタイプのファンデーション用に開発された特殊な筆で、手を汚さず1本でメイクを仕上げる事が出来る。(右) 化粧筆の毛材を精毛する様子。職人の手で、毛材が持つ美質を最大限引き出している。

### 海外進出の武器とするために

今回のパリへの進出実績が他の地域の展示会でのアピールポイントになると考え、本事業への参加を決めた。

また、欧州では動物毛を使った商品避ける人が多いことを踏まえ、人工毛を使った「リキッドファンデーションブラシ」を出展している。特殊な加工を施し、天然毛さながらの使い心地を実現すると共に、筆の表裏を使い分けることで、簡単にムラのないツヤ感での仕上げが可能になる。動物毛を敬遠する欧州でも、日本の化粧筆の品質の高さを感じてもらえる商品である。

### 海外展開先の文化への理解

ウエダ美粧堂の製品の多くは、動物毛を使っている。使用する動物毛は、食肉の副産物のようなものだが、欧州では動物毛を使用した商品を避けるあまり、その説明さえも聞いてもらえない。一方、中東では、豚の毛でなければ



自社で開発した人工毛に特殊な加工を施し、天然毛に劣らない化粧品の含み、吐出しを実現した商品。人工毛を使っているため、動物毛を使った商品よりもお手ごろな価格も大きな魅力。



海外の展示会での出展ブースの様子。規模が大きい展示会であるほど、来場者の目に留まるような展示にするのが非常に難しいという。

ば、動物毛の製品も受け入れられる。

海外展開においては、現地の文化を理解しなければ、そもそも商品のストーリーを理解してもらえない。

また、商品説明を現地用に翻訳する時にも注意が必要である。商品の説明資料に不自然な文言があれば、商品そのものが怪しく見えてしまう。良い商品であるほど、言語も現地に即した翻訳にしなければ、商品の価値が十分に伝えられず、商品そのものが避けられないケースが多いという。

### これからは 海外展開にも尽力していく

ウエダ美粧堂は、5年前から海外展開を本格化。ドバイで参加した展示会を皮切りに、今後も積極的に海外進出を進めたいと考えている。海外の展示会では、単独で現地企業と対等に競っていくのは大変。日本企業が協力してアピールしていくのが理想と考えている。

国内市場は、今後縮小を続ける可能性もあり、既存の国内の基盤に満足せず、海外展開を進めていく事が重要となる。現在は、中東、欧州での活動が中心だが、今後は地域を問わず、様々な国への展開を目指す。

### パリ出展経験者の声



植田 嘉孝氏  
代表取締役

- 海外展示会でのアピールポイントになればと事業に参加
- 自社の商品が展開先の文化で受け入れられるか見極めが重要
- 海外展開先では、商品説明をネイティブレベルで翻訳することが重要

### 企業情報

企業名：株式会社ウエダ美粧堂  
 代表者：植田 嘉孝氏  
 所在地：大阪府八尾市太田新町4-152  
 設立：1945年  
 従業員：28名  
 業務内容：化粧筆・化粧用具・和洋筆・刷毛、画材全般の製造販売及び輸出入、原材料の輸入・販売  
 電話番号：072-948-1034  
 企業URL：<https://www.cosme-bisyodo.com>